

災害対策調査特別委員会 活動報告（骨子案）

【目次】

1	付託調査事件	P
2	建議理由	P
3	活動方針	P
4	重点調査項目	P
5	スケジュール	P
6	調査経過	P
7	提言	P
8	委員構成	P

1 付託調査事件

令和7年第1回臨時会で特別委員会の設置を建議した際の付託調査事件を記載。

災害対策に関する調査

2 建議理由

令和7年第1回臨時会で特別委員会の設置を建議した際の建議理由を記載。

近年、大規模災害が増加傾向にあり、東日本大震災や熊本地震など、地震災害の被害が全国各地で多発する中、国は災害対策基本法をはじめとした法令の改正や各種計画の改定を重ねている。加えて、政府の地震調査委員会は、南海トラフ巨大地震における30年以内の発生確率をこれまで70%から80%としていたが、80%程度に引き上げ、引き続き備えを進めるように求めている。

令和6年1月に発生した能登半島地震は、多くの人命や家屋、ライフラインに甚大な被害を及ぼし、被災地の復旧・復興はいまだ道半ばである。被災者の死因については、約4割が圧死、約2割が窒息・呼吸不全であり、多くの人が倒壊した建築物等の下敷きになったとみられている。建築物の耐震化は人命保護の根幹をなすのみならず、がれきによる迅速な救命・救護活動の妨げや火災等による二次災害の危険性を軽減し、被災地の早期復旧・復興に重要であることが改めて浮き彫りとなった。

都においても、令和4年5月に東京の首都直下地震等による被害想定を約10年ぶりに見直した中で、耐震化の促進により死者・全壊棟数が3割から4割減少したことを踏まえ、さらなる対策を進めることで被害を大幅に軽減することが可能であるとした。

こうした状況に対して区は、自助・共助の推進とともに公助の役割を明確化し、区及び関係防災機関が有するすべての機能を最大限に発揮することで、区民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、令和5年度に地域防災計画を改定した。

今後は、予想される大規模災害の発生に備え、自助・共助・公助における日頃からの対策をソフトとハードの両面から捉え、Ready-Goの考え方に基づく初動体制の強化が重要である。併せて、発災後における区民生活の円滑な復興を見据えた体制の整備が必要である。

また、発災時における万全の安心・安全の確保には、災害弱者をはじめとする避難者が安全に避難するための支援や長期化する避難生活の環境整備も不可欠である。加えて、自治体及び民間との緊密な連携を踏まえた円滑な支援体制を構築するとともに、災害医療を中心とした体制を強化し、被災した地域の早期復旧・復興に資する強固な仕組みづくりが必要である。

その上で、大規模災害時の火災や建築物の損傷等による二次被害を防ぐためには、震災・火災による人的・物的被害を防ぐための不断の備えが必要である。住み慣れた自宅での避難生活を支援するとともに、災害に強靱かつ誰もが住み続けられるまちづくりを推し進めることが求められている。

議会としては、平時における震災・火災に対する万全の備えをソフトとハードの両面から総合的に推進し、区民生活の円滑な復旧・復興を見据えた誰一人取り残さない防災対策の実現に向けて調査を行う必要がある。

令和7年5月23日建議

3 活動方針

令和7年第2回定例会で決定した本委員会の活動方針を記載。

平時における震災・火災に対する万全の備えをソフトとハードの両面から総合的に推進し、区民生活の円滑な復旧・復興を見据えた誰一人取り残さない防災対策の実現に向けて、調査・提言を行う。

4 重点調査項目

令和7年第2回定例会で決定した重点調査項目を記載。

- 1 大規模災害への備えについて
- 2 震災・火災に強いまちづくりについて
- 3 区民生活の復興に向けた取組について

5 スケジュール

決定した活動方針・重点調査項目をもとに、令和7年第3回定例会の特別委員会において2年間の調査スケジュールを以下のとおり決定した。

		令和7年度 (2025 年度)			令和8年度 (2026 年度)			
		3 定	4 定	1 定	2 定	3 定	4 定	1 定
重点調査項目	1 大規模災害への 備えについて	調査事項(1) 地域防災力向上 に向けた取組に ついて			調査事項(2) 避難体制の整備 について(視察)	調査事項(3) 災害医療体制の 強化について		
	2 震災・火災に 強いまちづくり について		調査事項(1) 耐震化の促進に ついて	調査事項(2) 防災の視点を踏 まえたインフラ 等の安全対策に ついて	調査事項(3) 不燃化の促進 について			
	3 区民生活の復興 に向けた取組に ついて						調査事項(1) 学校教育活動の 復興について	
報告事項		○関連する報告事項があった場合は、適宜、報告を受ける。						
提言の検討		○議題に対する意見➡○前回意見の確認			検討サイクル	検討サイクル		
		検討サイクル			検討サイクル		検討サイクル	
			検討サイクル				○新たな提言の 検討	○2年間の検討 を踏まえた最 終調整を行う。
活動報告						○活動報告骨子 (案)の確認	○活動報告(案) の確認	活動報告完成

※特別委員会の調査経過や執行機関側の事業の進捗状況を踏まえ、調査内容及び調査スケジュールの時点修正を行う。

6 調査経過

開催年月日	調査事項等
令和7年 5月23日（金）	議題 ・正副委員長等の互選について
6月18日（水）	報告事項 ・防災用品等配付事業の取組状況について 議題 ・災害に強いまちづくりの取組状況について
10月3日（金）	議題 ・地域防災力向上に向けた取組について
12月9日（火）	報告事項 ・板橋区災害時受援応援計画の改定方針について 議題 ・耐震化の促進について
令和8年 2月24日（火）	報告事項 ・「板橋区新型インフルエンザ等対策行動計画」（素案）について ・「板橋区災害時受援応援計画」（案）について 議題 ・防災の視点を踏まえたインフラ等の安全対策について

開催年月日	調査事項等
令和8年 5月22日（金）	議題 ・正副委員長等の互選について
6月17日（水）	視察 ・避難体制の整備について 報告事項 ・「板橋区新型インフルエンザ等対策行動計画」（原案）について ・「板橋区耐震改修促進計画 2035」（原案）について 議題 ・不燃化の促進について
10月5日（月）	議題 ・災害医療体制の強化について ・活動報告（骨子案）について
12月9日（水） （想定案）	議題 ・学校教育活動の復興について ・活動報告（素案）について
令和9年 2月22日（月） （想定案）	議題 ・活動報告（原案）について ・委員会の結了について

7 提言

特別委員会として決定した重点調査項目における提言は以下のとおりである。

重点調査項目1 大規模災害への備えについて

背景・課題

●令和8年第4回定例会（素案）にて
重点調査項目に対する背景や課題を記載。追加・修正等を確認した上で、最終案に向けた委員会としての合意を諮る。

I ○○○○について

【○○○○○○】

● ○○○○○○○○○○○○○

● ○○○○○○○○○○○○○

●令和8年第4回定例会（素案）にて
これまでの調査事項に関する提言の方向性案を記載。追加・修正等を確認した上で、最終案に向けた委員会としての合意を諮る。

●令和9年第1回定例会（原案）にて
令和8年第4回定例会の調査事項に関する提言の方向性案を追記。追加・修正等を確認した上で、委員会としての最終的な合意を諮る。

II ○○○○について

【○○○○○○】

● ○○○○○○○○○○○○○

● ○○○○○○○○○○○○○

重点調査項目2 震災・火災に強いまちづくりについて

背景・課題

●令和8年第4回定例会（素案）にて
重点調査項目に対する背景や課題を記載。追加・修正等を確認した上で、最終案に向けた委員会としての合意を諮る。

I ○○○○について

【○○○○○○】

● ○○○○○○○○○○○○○

● ○○○○○○○○○○○○○

●令和8年第4回定例会（素案）にて
これまでの調査事項に関する提言の方向性案を記載。追加・修正等を確認した上で、最終案に向けた委員会としての合意を諮る。

●令和9年第1回定例会（原案）にて
令和8年第4回定例会の調査事項に関する提言の方向性案を追記。追加・修正等を確認した上で、委員会としての最終的な合意を諮る。

II ○○○○について

【○○○○○○】

● ○○○○○○○○○○○○○

● ○○○○○○○○○○○○○

重点調査項目3 区民生活の復興に向けた取組について

背景・課題

●令和8年第4回定例会（素案）にて
重点調査項目に対する背景や課題を記載。追加・修正等を確認した上で、最終案に向けた委員会としての合意を諮る。

I ○○○○について

【○○○○○○】

● ○○○○○○○○○○○○○

● ○○○○○○○○○○○○○

●令和8年第4回定例会（素案）にて
これまでの調査事項に関する提言の方向性案を記載。追加・修正等を確認した上で、最終案に向けた委員会としての合意を諮る。

●令和9年第1回定例会（原案）にて
令和8年第4回定例会の調査事項に関する提言の方向性案を追記。追加・修正等を確認した上で、委員会としての最終的な合意を諮る。

II ○○○○について

【○○○○○○】

● ○○○○○○○○○○○○○

● ○○○○○○○○○○○○○

8 委員構成

	＜令和7年度＞	＜令和8年度＞
委員長	さかまき 常行	岩 永 きりん
副委員長	大 野 治 彦	中村 とらあき
理事委員	五十嵐 やす子 小 林 おとみ 田 中 いさお	山 内 え り さかまき 常行 —
委 員	近藤 タカヒロ 大 野 ゆ か いがらし 学 小 野 ゆりこ 中村 とらあき 田中 やすのり —	近藤 タカヒロ 五十嵐 やす子 いがらし 学 小 野 ゆりこ 田中 やすのり 大 野 治 彦 田 中 いさお